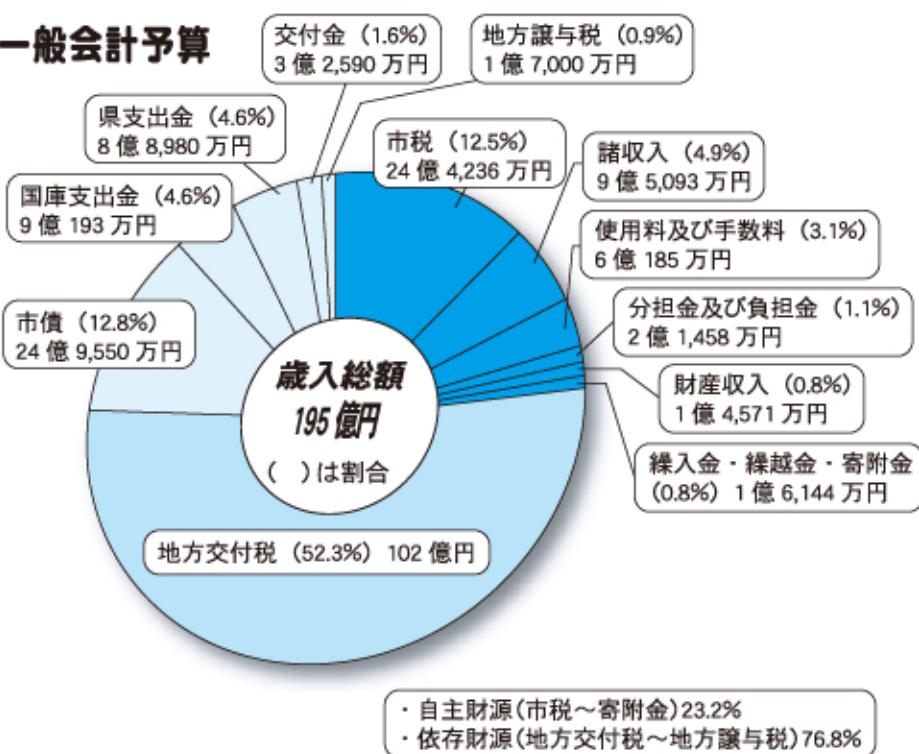


一般会計予算



歳入とは1年間の収入のことです。市民の皆さんに負担いただく市税は、1661円減少し24.4億を見込んでいます。市民一人当たりに換算すると9万1398円を納めていただくなります。

市税や使用料・諸収入など市独自で収入する歳入を自主財源といいますが、歳入全体の23.2%しかなく、残りの76.8%は、地方交付税、国や県の支出金、市債(借入金)となっています。

歳入の最も多くの割合を占めるのは地方交付税で歳入全体の52.3%、102億円を見ています。

諸収入は、9.5億円で前年度より5.5億円増加していますが、これは、県立但馬全天候運動場の移譲交付金を5.4億円受け入れるためです。

歳出金、市債(借入金)となっています。

一般会計(歳入)

歳出とは1年間に使うお金のことです。市民一人当たりに換算すると729万735円です。

一般会計(歳出)

平成24年度

重 点 施 策

【目的別に見た歳出】

次いで借金の返済である公債費で、19.3%、37.7億円です。将来の負担を軽減するために実施する繰上償還3億9700万円を含みます。

同率で総務費37.7億円となっています。

【性質別に見た歳出】

建設事業費と災害復旧費を投資的経費といいますが、これらは全体の11.2%となっています。全体経費から投資的経費と公債費を差し引いたものを一般経費といい全体の69.6%です。

一番多いのは公債費で19.2%です。次いで人件費15.5%、繰出金14.7%と続きます。

平成23年度当初予算では5億円、20.5%の増加となつて金は本年度28.6億円で4.9

億円、14.7%と続きます。

【性質別に見た歳出】

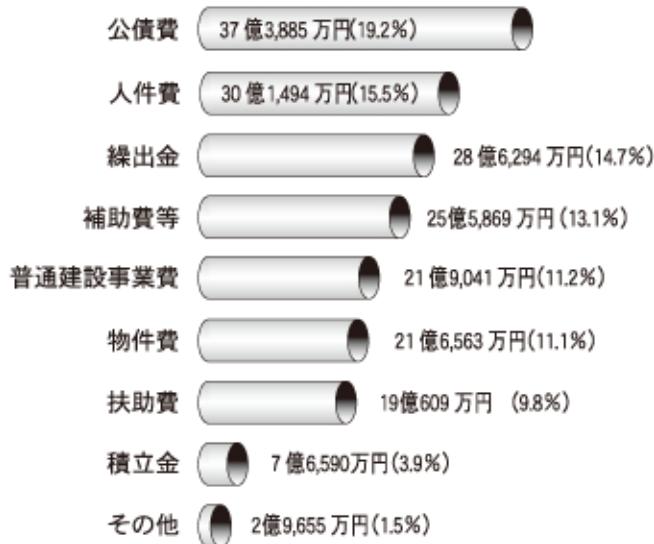
建設事業費と災害復旧費を投資的経費といいますが、これらは全体の11.2%となっています。全体経費から投資的経費と公債費を差し引いたものを一般経費といい全体の69.6%です。

一番多いのは公債費で19.2%です。次いで人件費15.5%、繰出金14.7%と続きます。

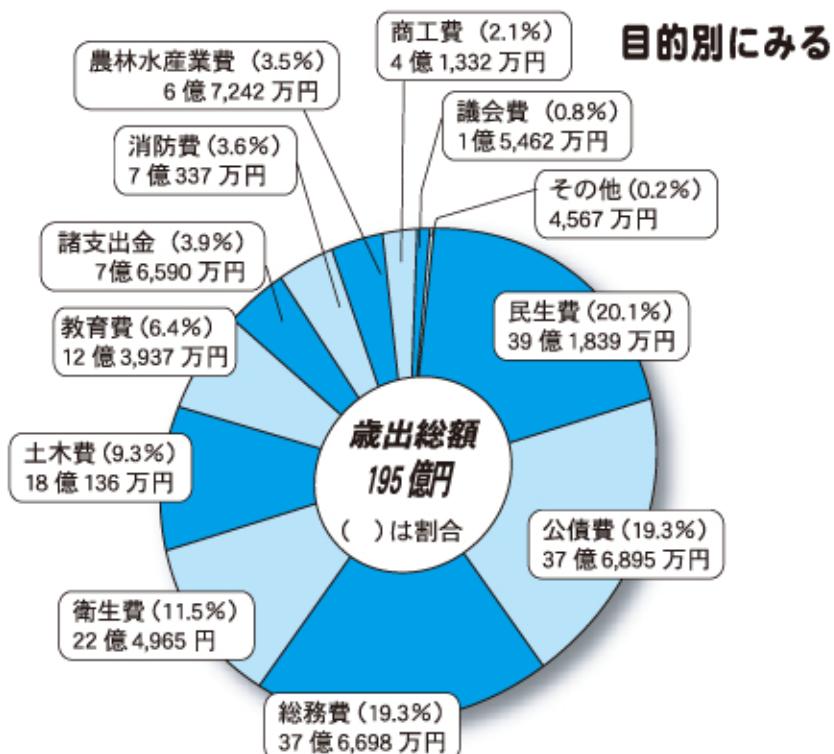
平成23年度当初予算では5億円、20.5%の増加となつて金は本年度28.6億円で4.9

- 1 (医) 医師の確保を重点に医療分野の充実
 - やぶ医者プロジェクト【拡充】 2412万円
 - 乳幼児・子ども医療費助成事業【拡充】 5288万円
 - 健康増進事業【拡充】 4847万円
 - 障害者支援
 - ↓ 相談支援事業【拡充】 327万円
 - ↓ 障害者福祉タクシーサービス【新規】 328万円
 - 学童療育支援事業【新規】 250万円
- 2 (食) 獣害対策と安全安心な食づくり
 - 有害鳥獣防護対策事業【拡充】 5883万円
 - 畠のスーパーマーケット開設事業【新規】 616万円
 - 高齢者生きがい活動支援事業【新規】 490万円
 - 新規就農総合支援事業【新規】 1440万円
 - バイオコークス研究事業【新規】 750万円
 - ↓ 青年就農給付金(経営開始剤)事業【新規】 450万円
 - 但馬牛を育てる支援事業【拡充】 240万円
 - 庄谷幼稚センター改修(増設)事業【新規】 10万円
 - 保育所等巡回相談事業【新規】 14万円
 - 防災メールシステム導入事業【新規】 3500万円
 - 防災関連資機材整備事業【新規】 259万円
 - 定住促進対策事業【拡充】 126万円
 - 交通安全政策事業【新規】 300万円
 - 温暖化防止対策事業【新規】 2620万円
 - ↓ 溫暖化対策事業【新規】 1億2925万円
 - 太陽光発電補助【新規】 1100万円
 - やぶつ子夢プラン事業【新規】 500万円
 - やぶつ子夢プラン事業【新規】 600万円
- 3 (住) 若者定住、子育て支援の充実
 - 庄谷幼稚センター改修(増設)事業【新規】 3500万円
 - 保育所等巡回相談事業【新規】 259万円
 - 防災メールシステム導入事業【新規】 126万円
 - 防災関連資機材整備事業【新規】 300万円
 - 定住促進対策事業【拡充】 2620万円
 - 交通安全政策事業【新規】 1100万円
 - 温暖化防止対策事業【新規】 1億2925万円
 - ↓ 溫暖化対策事業【新規】 500万円
 - 太陽光発電補助【新規】 600万円
- 4 (学) 未来と地域を担う人づくり
 - やぶつ子夢プラン事業【新規】 280万円

性質別にみる一般会計予算



※性質別とは、「物を買う」「道を造る」といった「どのように使うか」で分類したもの。



特別会計とは、特定の歳入をもつて特定の事業を行うものをおい、養父市では6つの特別会計を設置しています。本年度の特別会計合計額は6・2億円増の103億円(同比6・4%増)となりました。これは、下水道事業特別会計の4・4億円の繰上償還経費と簡易水道事業特別会計の伊佐・浅間簡水統合整備6200万円などが主な要因です。独立採算制を原則とし企業的特徴の強い事業を行なう場合に設置する企業会計は2会計あり、水道事業会計と氷ノ山国際スキー場事業特別会計を設置しています。水道事業会計では、道路関連工事と元利償還金の減小により2500万円減少しましたが、氷ノ山国際スキー場事業特別会計では、リフトの修繕などにより4700万円増加し、合計で45%、2200万円増えて、5億円となりました。

います。これは、下水道会計の市債を減少させるために実施する繰上償還に関する費用4・4億円が主な理由ですが、診療所への繰出金や国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金も増加傾向にあります。

特別会計・企業会計

○学校給食センター建設(統合事業【新規】)	2100万円
○小中学校フェンス設置事業【新規】	1100万円
○学校備品の充実【新規】	150万円
○教育相談員配置事業【拡充】	212万円
↓臨床心理士配置【新規】	60万円
↓巡回教育相談推進【新規】	20万円
○山田風太郎記念館整備事業【新規】	90万円
○芸術事業	
↓第10回ビバホールチエロコンクール(記念大会)【拡充】	
↓木彫フォーカートおおや	842万円
○全国芝居居サミット開催事業【新規】	542万円
○図書館等整備検討事業【新規】	300万円
10万円	
5 北近畿豊岡自動車道開通を契機とした交流の拡大と地域の活性化	
○北近畿豊岡自動車道開通記念イベント	750万円
↓健康マラソン部門 ハーフマラソン、ファミリーラン等	
○北近畿豊岡自動車道開通記念イベント【新規】	1120万円
○道の駅ようかリニユーアル工事【新規】	1575万円
○八木川河川公園整備【新規】	500万円
○ヒルクライム大会開催事業【新規】	150万円
○アンテナシヨップ開設事業【新規】	500万円
○ハチ高原自然体験公園整備事業【新規】	150万円
○ふれあい交流施設整備事業(養父)	2350万円
○おおやアート村整備事業(大屋)	2180万円
○まちなか賑わいづくり事業(関宮)	2300万円
○公募型企业間等連携推進支援事業【新規】	50万円
○養父市ブランド創出事業【新規】	2000万円